

## 5. 「日（いとなみ）が輝く」

### ①伝統・文化の継承・発展とスポーツの振興

#### 前期基本計画の取組状況

##### （1）文化財・伝統の継承

平成23年度には、市教育委員会が調査主体となり、新居見遺跡において埋蔵文化財発掘調査を実施し、記録保存を行いました。また、遺跡・文化財・伝統芸能の保存と継承を図るために専門職員を配置するとともに、市広報やホームページなどにより市民の皆さんへの啓発活動に取り組んでいます。

##### （2）市民文化と芸術の振興

12 市町村で構成する徳島東部地域における広域文化事業として東とくしま小学生俳句大会を開催し、芸術・文化の住民相互の交流を図りました。

ミリカホールでは、舞台機構や移動観覧席、空調設備等の改修を行うとともに、自主事業として平成21年度から気軽に参加できるクラシックミニコンサートの開催や学校でのアウトリーチ事業<sup>20</sup>を実施しました。

##### （3）生涯スポーツの推進

総合型地域スポーツクラブの「みなと小松島スポーツクラブ」が平成22年4月から運営を開始しており、種目数、会員数も年々増加しています。また、平成23年度には市制施行60周年記念事業として、「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」、「宝くじスポーツフェアドリームサッカー・日本代表OBがやってくる」を開催しました。さらには、徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンで取り組むスポーツ大会共同開催事業として、圏域市町村と連携して徳島東部地域ニュースポーツフェスティバルの開催に向けて準備を進めています。

小松島市立体育館の屋根の全面改修や、ステーションパークなどの老朽化した施設を整備するとともに、各種団体のスポーツ活動への支援を行いました。

<sup>20</sup> アウトリーチ事業（Outreach） 芸術・文化におけるアウトリーチ事業とは、ホールが招聘（しょうへい）した演奏家を学校や福祉施設などに派遣し、ワークショップやミニコンサートなどを行う事業をいいます。芸術に全く関心のない人、興味があってもホールに足を運ぶことのできない人も対象とし、ホールの受益者を拡大し、新しい観客や聴衆の育成効果があると考えられています。

#### (4) 豊かな食文化の継承及び発展

小松島市学校食育推進委員会において、正しい食習慣を身につけるよう、学校を中心に家庭・地域が連携を図りながら食育の推進に努めました。

平成22年11月に「小松島市食育推進計画」を策定し、学校等関係機関が計画に基づき食育に取り組むとともに、市民アンケートを実施し、市民の皆さんへの食育PRと食をめぐる現状の把握、関係者間での課題の共通理解を図りました。

#### 現況と課題

#### 市の芸術・文化資産

小松島市内には、立江寺が所有する絹本着色釈迦三尊像ほか3点の国指定の重要文化財、地蔵寺が所有する胎蔵界曼荼羅ほか15点の県指定重要文化財があります。他にも、立江の祇園ばやし、豊國神社にある木造豊太閤像ほか5点が、市指定の文化財となっています。

また、市立図書館生涯学習センターには、弥生時代から中世にかけての遺物や、多くの貴重な書画などが展示、所蔵されています。

平成23年度には、市教委が調査主体となる初めての埋蔵文化財発掘調査を新居見遺跡において実施し、記録保存を行いました。その出土遺物に関しては、市立図書館生涯学習センターにおいて常設展示を予定しています。また、平成24年度は、田浦遺跡の埋蔵文化財発掘調査が実施されています。

しかし、官民ともに未だ埋蔵文化財包蔵地の周知が徹底されておらず、開発事業と埋蔵文化財の保護が円滑に行われるような体制を整備する必要があります。

現在、市内にある恩山寺（18番札所）や立江寺（19番札所）を含む「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産への登録申請へ向けた取り組みが、四国四県と関係する市町村により組織された「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会を中心に進められています。

#### 市民の文化意識

中央会館・勤労青少年ホームでは、英会話、ヨガ、川柳、茶道など、市民の皆さんを対象とした講座が毎年30講座ほど開設されています。生涯学習センターにおいて、センター主催で行うふるさと講座や高齢者教室などで参加者を集めています。

地域における公民館では、各種芸術文化団体活動への支援を行い、市民の皆さんの文化意識高揚を図っています。

コンサート・講演会・上映会・展示会など多様な催しに対応可能なミリカホールが平成11年4月に完成し、室内楽コンサートや映画上映、アウトリーチ事業の実施など、直に音楽や芝居等に触れる機会を提供するとともに、貸館事業を通して、市民の皆さんの芸術・文化活動を支援しています。



手工芸文化フェスティバル

## スポーツ

スポーツ・レクリエーション活動は、人々の「こころ」や「からだ」の健全な発達を促し、生命力や活力を与えてくれるとともに、健全で豊かなライフスタイルを構築し、夢や生きがいのある社会の形成に重要な役割を担っています。

小松島市内には市立体育館をはじめ、市総合グラウンド、和田島緑地（JAあいさい緑地）、市営プール、赤石運動広場などの体育施設があります。これらの施設では、市民の皆さんによるスポーツが活発に行われています。

また、旧国鉄小松島線の跡地は、ステーションパークからJR中田駅までは、歩行者専用道路に生まれ変わり、市民の皆さん、朝夕の散歩やジョギングコースとして憩いの場となっています。

毎年10月には、市と小松島市体育協会加盟団体の共催による市民体育大会が開催され、約2,000人を超える人が参加しています。他にも市の主催で、市民なわとび大会やクロスカントリー大会、公民館単位による市民駅伝大会が毎年開催されており、市民の皆さんの交流と健康づくりに一役買っています。



市民なわとび大会

## 新たな文化としての「食育」

学校給食では、地域の特性を活かした学校給食を実施することで、子どもたちが地域の食文化への理解を深めるよう努めています。具体的には、地域で生産された食材や地域の郷土料理や伝統料理など地域に根付いてきた食文化を継承した献立を取り入れ、給食指導や給食時の放送、給食だよりなどを用いて、児童・生徒に知らせています。こうしたことを通して、ふるさとを愛し、誇りをもつ心豊かでたくましい子どもの育成に努めています。

また、学校給食における食事の準備から後片付けまでの一連の実践を通して、食べ物やそれにかかわる人への感謝の気持ちをはぐくむとともに、食事のマナーを学ぶことにより、残さず食べる習慣を身に付けるよう取り組んでいます。

平成 22 年度に「小松島市食育推進計画」を策定し、平成 26 年度までに取り組む 14 項目の目標値を定めました。学校、保育所、漁協、農協等の関係機関が小松島市の現状や課題を共有するとともに、それぞれ連携を取りながら、食育推進に取り組んでいます。

## 基本方針

### 伝統の継承

「市は、市民の皆さんが、日常生活の中で、豊かな伝統と文化に触れ、それらを楽しみ、活かすことができるまちづくりをめざします。」

こまつしまの豊かな自然環境のなかで受け継がれる伝統・文化を大切にする心を市民の皆さんに持ってもらえるよう、ふるさとの自然や文化や歴史を学習する機会を創出します。

遺跡・文化財・伝統芸能の保存と継承を図るため、専門職員を配置し、市広報やホームページ、高齢者教室などにより市民の皆さんへの啓発活動に取り組みます。

受け継いできた文化財を将来につなげるため、文化財に対する防災活動を実施します。



文化財防火訓練

### 市民文化と芸術の振興

「市は、自らの生活を豊かにし、楽しむことができるような、未来につながる新たな地域文化の創造を、市外との連携も視野に入れながら、支援します。」

こまつしまにおいて活動している文化協会や文芸協会などの活動を支援します。また、近隣市町村などとの連携により、文化や芸術の振興活動に広がりを持たせます。

### 生涯スポーツの推進

「市は、市民の皆さんの健康維持と体力向上のため、市民の皆さんのが、生涯を通してスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、交流を深め、心身ともに健康で明るく豊かな生活ができるよう、支援します」

市は、市民の皆さんや訪れる人々が気軽に、スポーツ・レクリエーションを楽しめるように、施設の整備を行います。また、スポーツ・レクリエーションの指導者を育成します。

### 「食育」の推進

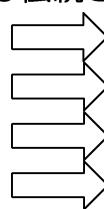
「学校では、意図的に学校給食を教材として活用することで、給食の時間をはじめとする関連教科等において食に関する指導を体系付けるとともに、学校ごとに前年度の見直しを行い、毎年「食育全体計画」を立てます。また、食の安心・安全についての理解を深めるとともに、よくかんで食べるなどの望ましい食習慣を身に付け、楽しい給食となるよう食事環境の充実に努めます。さらに、偏食や、肥満、朝食欠食、孤食など、食に関する学校だけでは解決できない課題については、家庭、学校、地域の連携を強化して取り組みます。」

学校給食では、幼児・児童・生徒が発達段階に応じて、学校教育活動全体を通じて総合的に食に関する知識や能力等を身に付けることができるよう、継続性を配慮しながら推進します。また、食事の準備から食前のあいさつ、正しい姿勢とはしの使い方、食後のあいさつ、後片付けなどを実践し、食べ物やそれにかかわる人への感謝の気持ちをはぐくむとともに、食事のマナーを学ぶことにより、残さず食べる習慣を身に付けるよう継続して取り組みます。

さらに、こまつしまの豊かな縁と水に恵まれた自然の恩恵による食料の生産と、その消費を通じた交流を図ることで、環境と調和のとれた安全安心な食料の供給と地域の活性化を図ります。

## 施 策 体 系

### ●伝統と文化の継承・発展とスポーツの振興



- 文化財・伝統の継承
- 市民文化と芸術の振興
- 生涯スポーツの推進
- 豊かな食文化の継承及び発展

## 主な取組

### (1) 文化財・伝統の継承

- 伝統芸能、祭りなどに子どもや若者の参加を促進し、地域に伝わる民俗文化財等の保存・継承に努め、また活動を助成します。
- 埋蔵文化財保護体制の充実を図るとともに、開発への対応・遺跡の発掘調査・調査研究を進め、適切に保存します。
- 地域文化を語る貴重な文化財を指定し、文化財の歴史的意味と価値を市民の皆さんに周知し、こまつしまの文化財保護意識の啓発を行います。
- 文化財の継承と保護のため、防火訓練など防災活動を行います。また、文化財の管理者や所有者に対して、耐震への備えを啓発します。

### (2) 市民文化と芸術の振興

- 芸術文化団体を支援し、豊かな創造性と市民の皆さんの文化意識の高揚を図ります。
- 12市町村で構成する徳島東部地域における広域文化事業において芸術・文化の住民相互の交流を図ります。
- ミリカホールの活用に努め、市民の皆さんのが安全に快適に利用できる施設として日頃より適正な管理を行います。また、安価で参加できるミニコンサートの開催や学校でのアウトリーチ事業、映画などを実施し、市民の皆さんのが気軽に身近で鑑賞できる機会を増やします。
- 貸館事業を通して市民の皆さんや文化団体の主体的な芸術文化活動を支援・育成します。

### (3) 生涯スポーツの推進

- 平成22年4月に設立したこまつしま総合型地域スポーツクラブ「みなと小松島スポーツクラブ」の運営を引き続き支援します。
- 徳島東部の地域住民の間にスポーツ・レクリエーションを普及振興し、明朗で健康な住民生活を実現するため、徳島東部地域ニュースポーツフェスティバルの開催に向けて計画を進めます。
- 多様なスポーツニーズに応えられるよう、ニュースポーツの紹介・普及、指導者の育成と資質の向上、指導者バンクと派遣システムの構築、情報提供などを行います。
- 市民の皆さんのが楽しんで参加できるよう、市が開催する市民なわとび大会やクロスカントリー大会、体力づくり大会などのスポーツイベントの充実を図ります。

- スポーツ団体の活動を支援し、職場や地域での市民の皆さんの自主的なスポーツ活動の充実を促進します。
- 社会体育施設の整備・充実を図り、市民の皆さんの利用を促進します。市民の皆さんに、身近で活動のできる施設として、学校施設の開放を推進し利用促進を図ります。
- ステーションパーク、たぬき広場、しおかぜ公園など小松島港本港地区周辺を、市民の皆さんの憩いの場、多様な活動施設、レクリエーションの場として整備充実します。

#### (4) 豊かな食文化の継承及び発展

- 小松島市学校食育推進委員会の活動を通じて、食にかかる共通の課題の解決や、生涯を通じた健康の保持増進をめざして、幼稚園・小学校・中学校の各段階における一貫した指導を行えるように食育の情報を共有するなど、効果的に食育が推進されるような仕組みづくりを行います。
- 学校給食については、地域の生産者や生産者団体と連携を図り、地場産物の導入率について、野菜について徳島県産7割以上となるようにします。また、地場産物活用年間計画を作り、生きた教材として「食」の大切さや安全性、郷土愛など地域に根ざした学校給食を実施します。
- 新鮮で安全性の高い農林水産物を提供し、地産地消を促進するため、多収穫高品質な栽培技術を推進します。
- 地域に根ざした食育を推進するため、食のボランティア組織である食生活改善推進員の育成支援を行います。
- 小松島市食育推進実務者会議を定期的に開催し、関係機関が共通理解を図り、乳幼児から高齢者までライフステージに応じた間断ない食育の推進に努めます。